

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成28年3月31日現在)

団体名	事業名	公営企業の名称
皆野長瀬下水道組合	下水道事業	特定環境保全公共下水道事業

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

(現行の経営体制・手法を継続する理由)

以前に施設の運転監理業務の民間委託を実施していたが、結果的にコストが高くなってしまった経緯がある。民間委託はその団体の事業規模等によっては有効な手段だとは思いますが、当組合には適合しなかったと思う。そのため職員直営での運転管理に切り替えておりコストも抑えられた形で現在に至る。

また、下水道の接続率の向上のために未接続世帯の戸別訪問などをシルバー人材センターに委託した事もある。接続率を今後高めていく事が使用料収入の伸びにつながるため継続的な対策を行っていききたい。

(今後の経営改革の方向性等)

施設の更新などが控えているため、長寿命化計画を策定し効率的な修繕や投資を行うことで将来的にかかる負担をいかに抑えるかというライフサイクルコストの削減を命題として事業に取り組んでいる。また、未接続世帯の下水道への接続推進活動に力を入れ、使用料収入の恒常的な増加に取り組んでいく必要があり継続的な対策を行っていききたい。

その他の民間活用の取組状況

		(事業の概要)	(取組の方式等)	(実施(予定)時期)		
実施済	○			平成		
実施予定				年	月	日
検討中		(事業の概要)	(検討状況・課題)			